



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・ご自身の試料（血液・髄液等）や情報を提供したくない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で
健常成人の方、軽症・寛解状態の精神疾患の方

【研究課題名】

健常人由来血清・血漿・脳脊髄液を用いた細胞外小胞解析法の標準化およびマルチオミクス基盤構築に関する多機関共同研究

【研究責任者】

吉岡 祐亮（東京医科大学 医学総合研究所 分子細胞治療研究部門・講師）

【本研究の目的及び意義】

血液や髄液に含まれる「細胞外小胞（EV）」は、病気の診断や治療に役立つことが期待されていますが、回収方法や解析方法が施設ごとに異なり、結果の再現性が低いことが課題となっています。

本研究では、健常な方の試料を用いて、EVを安定して回収・解析できる標準的な手法を確立し、将来の疾患バイオマーカー探索やEV研究の基礎となる基盤データを構築することを目的としています。

【本研究に提供する試料・情報】

試料: 血漿、血清、脳脊髄液

情報: 年齢、性別、身長、体重、BMI、喫煙歴、飲酒歴、既往歴、採取年月日、採取条件、検体処理条件、保存期間のうち、本研究の実施に必要な項目

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2029年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

試料からEVを抽出・解析する機関：東京医科大学、武田薬品工業、田辺ファーマ、中外製薬、日本新薬
抽出されたEVを解析する機関：東京医科大学、医薬基盤・健康・栄養研究所、京都大学
統計解析をする機関：東京医科大学、医薬基盤・健康・栄養研究所

外部委託機関：一部の網羅的分子解析（Olink解析、miRNA発現解析等）については、必要に応じて外部の解析機関へ委託する場合があります。委託に際しては、個人を直接識別できる情報は提供せず、契約に基づき適切に管理します。

【利用を希望されない場合】

本研究への利用を希望されない場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。ご連絡をいただいた後は、新たな解析への利用を行いません。

ただし、すでに研究者へ提供済みの試料・情報、すでに解析済みのデータ、またはすでに公表済みの研究結果については、個別に削除又は破棄することが困難な場合があります。

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail : biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)
